



おもいで たからばこ
~みらいにむかって はばたこう!~

5月 町屋幼稚園だより

令和8年4月30日
荒川区立町屋幼稚園
園長 浪江 泰弘

大空を泳ぐこいのぼりのように

園長 浪江 泰弘

子どもたちが協力して作ったこいのぼりが、青空を気持ちよさそうに泳いでいる姿に歓声をあげています。5月5日は「こどもの日」です。園でも、子ども会の行事で柏餅をみんなで食べます。

進級から1ヶ月が過ぎ、子どもたちの表情には少しずつ自信が溢れ、たくましさが増してきました。だんごむしのお世話をする姿、時計の数字を見て、次の準備をする姿、係のお仕事をする姿など、「自立の芽」があちこちで見られ、私たち教職員も日々驚きと喜びを感じています。

子どもたちが、このこいのぼりのように、広い世界へ向かって自分らしく健やかに、のびのびと育っていくこと。そんな願いをご家庭と共有しながら、今月も一人ひとりの歩みを大切に育んでまいります。



《今月のねらい》

- 【年 長】○自分の思いや考えを伝えようとして、友達の思いを聞いたりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
○自然に親しみながら、友達や異年齢児と一緒に遊ぶことを楽しむ。

自分たちでやってみよう！

憧れの年長いるか組に進級した子どもたち。幼稚園での生活を自分たちの力で進めていこうと、係の仕事に張り切って取り組んでいます。カメの世話、植物の水やり、砂場の準備、お休みの人数調べなどに同じ役割の友達と声を掛け合い、力を合わせて挑戦しています。



町屋幼稚園の歴史探訪 ①

荒川区立町屋幼稚園は昭和26年(1951年)1月に転入による人口の増加や第1次ベビーブームによる幼児数の増加などに対応するため、区内4か所目の公立幼稚園として開園しました。初めての修了式での修了児は28名。当時の町名で町屋町・三河島町・尾久町から園児が通園していました。ここからたくさんの園児が町屋幼稚園から羽ばたいていき、現在までの修了児は4102名になりました。今年度で創立76年目を迎えます。



開園当初の子どもたちの様子